

平成29年度第2回水産研究所研究評価委員会（中間・事後評価結果）

日時	平成30年3月8日（金）9時30分から12時00分まで			
場所	水産研究所2F大会議室			
委員	(大) 三重大学 大学院生物資源学研究所	教授	神原	淳
	(国研) 水産総合研究センター 増養殖研究所	業務推進部長	大迫	典久
	三重県漁業協同組合連合会	指導部長	植地	基方
	生活協同組合コープみえ	副理事長	松岡	結花里
	北村物産株式会社	代表取締役専務	北村	裕司

中間評価 「漁場環境適応型黒ノリ養殖業に向けた技術開発」

項目を研究の進捗、目標達成の可能性、課題の取扱いとし、評価を実施した。結果は下表のとおりで、課題の取扱いでは全委員が「継続して課題を完成させる」と評価した。

中間評価結果（数字は委員5名中の該当委員数）

課題名	研究の進捗				目標達成の可能性				課題の取扱い		
	計画以上	目標通り	やや遅れ	遅れ	非常に高い	高い	やや低い	極めて低い	継続して完成させる	課題整理予算縮小が必要	中止すべき
漁場環境適応型黒ノリ養殖業に向けた技術開発	1	4	—	—	2	3	—	—	5	—	—

事後評価 平成29年度終了課題

「英虞湾漁場環境調査」

「新しい真珠養殖実証化事業費」

目標の達成度、技術の発展性、技術移転・普及の具体性、今後の研究方向について評価を実施した。結果は下記のとおりで、両課題とも、全委員が、目標達成度を「目標以上、目標どおり」と評価した。

事前評価結果（数字は委員5名中の該当委員数）

課題名	目標の達成度				技術の発展性			技術移転・普及の具体性 (複数回答可)			今後の研究方向		
	目標以上達成	目標どおり	一部不十分	不十分	課題として発展性あり	発展性あり 一部の中小課題について発展性は少ない	発展性は少ない	技術移転の可能性あり	製品化・普及の具体性あり	技術情報として有効	新規課題として未完成技術の発展を図る	未達成課題は継続して完成を図る	課題を終了する
英虞湾漁場環境調査	—	5	—	—	3	1	1	2	1	2	2	3	—
新しい真珠養殖実証化事業費	2	3	—	—	5	—	—	4	1	—	1	4	—